



にいがた若者座談会のお知らせ



にいがた若者座談会とは?

新潟出身で首都圏在住の若者達が
「こんな新潟なら帰りたい」を本音で語り合う会合です。

ものごとの理解に、現場の意見はとても重要です。レポートや報道など、専門家による整理された情報からはわからないこともたくさんあります。『にいがた若者座談会』は、現在新潟を離れ首都圏で暮らしている20代から30代の若者たちの「リアルな声」を活かすための会合です。彼らとともに、新潟県の職員や県内各自治体の職員なども交え、新潟の魅力や課題について本音で語り合い、魅力をさらに高める方法や課題の解決方法について議論します。

TOPICS

- 12月に開催した第2回「にいがた若者座談会」では、『「こんな新潟なら帰りたい」アイデア集』をもとに、若者が求める新潟暮らしについて話し合いました。
- 2月29日(土)東京・恵比寿で第3回「にいがた若者座談会」を開催します。



第2回 にいがた若者座談会

新潟出身で首都圏在住の若者たちが

「こんな新潟なら帰りたい」を語り合う『にいがた若者座談会』。

第2回イベントを昨年12月に東京都中央区で開催しました。



初対面とは思えないほど打ち解け合った参加者の皆さん

30名以上の参加者でUターンを議論

新潟出身の20～30代の方々、新潟県内市町村のUターン担当職員、新潟県Uターンコンシェルジュなど、総勢35名が参加して、資料として配付された、『「こんな新潟なら帰りたい」アイデア集』をきっかけにして意見交換と交流が行われました。

アイデア集にある15のアイデアは、昨年8月のキックオフイベントで出た「Uターンに関する課題」等をもとに、「若者に合う新潟暮らしに必要なことは？」の観点から作られたもので、「どれが良いか?」「どんな視点が加わればさらに良くなるか?」など、自由で活発な意見が交わられました。



最初に新潟県新潟暮らし推進課長・阿部からイベントの趣旨について説明。

地元・新潟の良さに気づいてもらう

最も高評価だったアイデアは、『新潟の魅力を知るリカレント塾』でした。意外と知らない新潟のことを学び、現在の新潟を知る機会(リカレント教育)をつくり、Uターンの参考材料にしたり、今の自分の目線で故郷を見つめ直したりできる取組です。参加者からは「初めて知るだけでなく、地元のよさを思い出すきっかけにもなる」など、好意的な意見が多く寄せられました。

Uターンへの緩やかなシフト

次に好評だったのは、テレワークが可能な新潟県内の企業と、テレワークを希望するUターン検討中の首都圏在住者とのマッチングを図る『新潟の仕事 テレワークマッチング』でした。子育て中の親



休憩タイムは新潟のキャンプ用品メーカーのテント内でトーク

アイデアの評価 全体集計結果

- 第1位 「新潟の魅力を知るリカレント塾」
- 第2位 新潟の仕事テレワークマッチング
- 第3位 月払い定額制の新潟暮らし(サブスクリプション)
- 第3位 新潟の特色ある企業・産品・景勝地をメディア等に登場させ認知度向上(プロダクトプレイスメント)
- 第4位 東京つまづき・新潟リバイバル先生塾
- 第4位 都内大学での新潟ビジネス講座
- 第5位 転職意欲ある若者向け自分売り込みオークション
- 第6位 Uターン家族相談カウンセラー
- 第6位 経済価値だけじゃない、新潟暮らしの価値や将来性の発信
- 第7位 雪のない国の人々のおもてなしを通じて「新潟ネガティブ→ポジティブ」作戦
- 第8位 「つぶやき」に応じて新潟暮らしを提案する自動質疑応答サイト構築
- 第8位 複業コーディネーター
- 第9位 スキル・経験が活かせる希望に合った求人情報が簡単に検索できるWEBサイト構築
- 第10位 「たぞね里場示板」と「第二住民票制度」
- 第11位 所得を補う新潟暮らし「お福分け計数」

にとって通勤が必須でない労働環境はとくに魅力的なため、「子育て世代のUターン促進に効果的」という評価が集まりました。また、子育て世代以外でも「働き方の見直しを足掛かりに、Uターンへと緩やかにシフトできそう」という意見もありました。

「緩やかなシフト」という視点では、月額固定費だけで各市町村で暮らせるようになる『月払い定額制の新潟暮らし(サブスクリプション)』も高く評価されました。「複数エリアにお試しで居住し、自分に合った環境を見つけられる」点が好評価を受けました。一方で、いきなりUターンし、各地を転々とするのは難しいため、週末限定でのスタートや交通費の一部負担など、挑戦しやすい工夫が必要という声も上がりました。

Uターンの決断には、プラス面だけでなく、マイナス面も合わせた総合的な判断が求められます。移住に関する「リアルな情報に触れられる豊富な機会と時間を、検討者にいかに提供できるか」が、Uターン実現におけるキーポイントのようです。



議論の末、グループが推したいアイデアを決定



若者座談会レビュー



新潟県県民生活・環境部
新潟暮らし推進課
U・ターン促進班
主査 笹木 正彦



にいがた若者座談会
参加メンバー
小林 楓さん
新潟市秋葉区出身



にいがた若者座談会
コアメンバー
廣岡 健二郎さん
新発田市出身



新潟市 東京事務所
主事 勝海 早紀さん

貴重なリアルの声

イベント終了後、参加していただいた首都圏在住者、新潟県内市町村のU・ターン担当職員、新潟県職員に感想を伺いました。

「多くのアイデアについて議論していただきました。その中でも「これはいいな」と思ったものは何ですか？」

『月払い定額制の新潟暮らし(サブスクリプション)』です。様々な土地で自分の生活の可能性を確認できるところがとてもよいです。

(勝海さん)

私も同じです。定額で様々な地域での生活を試せる機会はとても魅力的です。U・ターン希望者だけでなく、県内の別のエリアでの生活も検討したい県内在住者にもよいサービスだと思います。

(小林さん)

「参加者の皆さんからは、リアルな情報に対するニーズの高さを感じました。」

そうですね。求人サイトで、働いている方の働きぶりだけでなく、その人の暮らし方まで知れるといいという意見もいただきました。

(笹木)

仕事面と生活面において、U・ターンした方のよかった点だけでなく、「この部分は失敗した」と思っている点についても知

りたいという意見が出ました。

(小林さん)

U・ターン経験者に限らず、現在の新潟県内在住者が感じている「いまの新潟の良い点」や「不満な点」などの声をもっと聴く機会をつくらないといけないと思いました。それらもU・ターンを判断するリアルな情報です。

(廣岡さん)

「新潟から東京に出てきた廣岡さんと小林さんは、U・ターンしたくなりましたか？」

すぐに戻ろうとは考えていません。しかし、新発田市のYouTubeを毎日見るほど、地元愛は強いです。東京に残りつつ、地元の良さを周りの人たちに伝えることも、上京している者としての責務だと思っています。

(廣岡さん)

まだ自分は戻らないとしても、U・ターンしたい人の背中を押したり、U・ターンを考えている人に対して新潟を紹介したりす

る関わり方もありだと思います。

(小林さん)

「今後の『にいがた若者座談会』に希望することはありますか？」

ライフステージ別に話を聴ける場があるとよいと思います。その方が、よりリアルなU・ターンを知れる機会になるはずです。

(勝海さん)

例えば、新潟で子育てすると決めてU・ターンした女性が、実際にどのように子育てしているかなど聴けたりするとよいですね。

(小林さん)

U・ターンした方の話を生で聴いてみたいです。その中で、U・ターン前後の生活費の推移や平日・休日24時間の過ごし方の変化などを、数値として可視化していただきたいです。それらのデータを提示していただくと、よりリアルにU・ターンを意識できるようになると思います。

(廣岡さん)

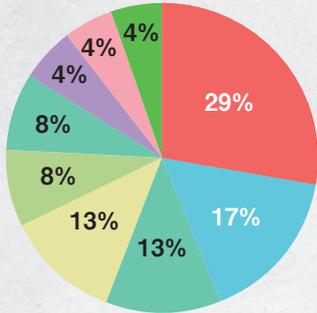


インタビュー中も、皆さんからあたたかい「新潟愛」が伝わってきました

今回参加した皆さんの感想等

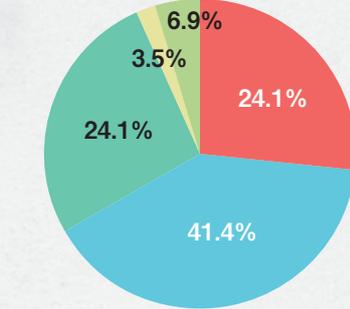
平均年齢 30.17歳

出身地



■新潟市 ■新発田市 ■燕市 ■長岡市
■阿賀野市 ■上越市 ■三条市 ■南魚沼市
■粟島浦村

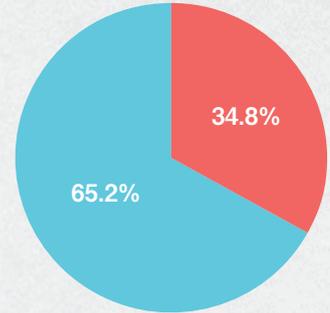
座談会に参加いただいた理由をお聞かせください



■知り合いを増やしたい ■新潟の役に立ちたい
■Uターンに興味 ■知り合いに誘われた ■その他

- ・同じ世代の仲間をつくりたい。
- ・新潟のために何か活動をしたかった。
- ・Uターンのヒントを得たいと思って。

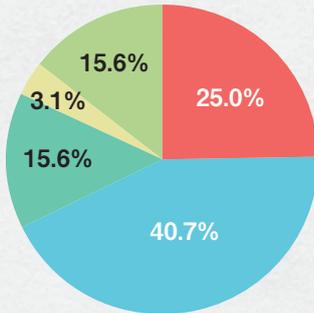
本日の座談会の感想をお聞かせください



■とても満足 ■満足

- ・関東に住んでいる方々の新潟に対する思いを知れて良かった。
- ・新たな視点を持つことが出来て、視野を広げることができた。次も参加したい。
- ・交流でネットワークやコミュニティが広がるので良いと思う。

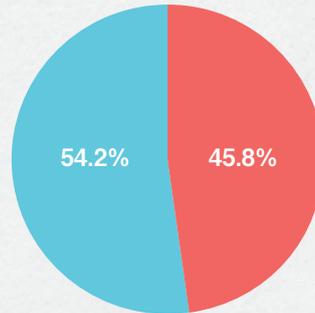
新潟へのUターンを考える場合のネックとなることをお聞かせください



■仕事(給料) ■仕事(働き方) ■結婚・子育て
■住まい ■コミュニティ

- ・一番のネックは仕事で新潟県出身者はみんなそう感じている。
- ・家族と一緒にUターンをするのはリスクが高い。
- ・生活水準が下がらないようにしたい。

次回座談会への参加のご意向をお聞かせください



■積極的に参加したい ■参加したい

- ・出会いの場も大切だが、Uターンにつながる内容をもっと話したい。
- ・地元の人と個別に話したり相談できる時間・場所があると良い。
- ・今後も新潟出身者と交流できる場を作ってほしい。

第3回 にいがた若者座談会

日時 令和2年2月29日(土)13:00-16:30(受付12:30)

会場 co-ba ebisu

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西一丁目33番6号
JP noie 恵比寿西 1F

東急東横線「代官山駅」東口徒歩 3分

JR山手線、埼京線、湘南新宿ライン

「恵比寿駅」西口徒歩 5分

参加申し込みはこちらから

<https://niigatakurashi.com/39593/>



主催 新潟県(県民生活・環境部新潟暮らし推進課)

お問合わせ先 イベント企画・運営 (株)新潟日報事業社

TEL025-383-8025 (平日9:30~17:00) MAIL ui-z@nnj-net.co.jp

